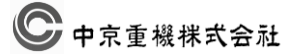


記録表 発行日	元年 6月 18日	検印
注番		

(自走式)土質改良機 CJ受入40項目検品表



☎ 465-0057 愛知県名古屋市長区陸前町1705
 サービス部 フィールドサービスグループ
 TEL: 052-701-5191 / Fax: 052-701-5193

メーカー名	コマツ	型 式	BZ210-1	機械所有者	様
製造(シリアル)番号	1036	アワメーター	4877HR	検査年月日	2019年8月8日(木)
エンジン型式	SAA6D102E-2A	検査者名	筑摩	検査実施場所	本社内 日進ヤード ()
エンジンシリアル	67620	特自検	特自検ステッカー <input checked="" type="checkbox"/> 有 / 点検日 2018年7月 / 点検者 日立建機日本		

※ エンジン始動後、ローアイドルング(低速回転)にして、無負荷運転を約5分間実施の事

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	評価	備考		
エ ン ジ ン	1	本体	a. 始動/停止性	かかり具合、異音、予熱栓・ヒーターの作動、ソレノイド	目視 or 操作 or 聴診	A (B) C D E		
			b. 回転の状態	アクセルの作動、回転具合		A (B) C D E		
			c. 排気の状態	排気色、排気音、吹き返し、マフラー外観の欠陥によるガス漏れなど		A B (C) D E		
			d. ブローパイガス	漏れ具合、漏出量		A B (C) D E		
			e. エアークリーナー	ケースの亀裂、変形、エレメントの汚れ、損傷		A B C (D) E		
			f. 過給機(ターボ)	異常振動、ガス漏れ、潤滑油漏れ		A B (C) D E		
			g. エンジン圧縮	エンジン内部コンプレッション圧計測		測定器を使用して 測定	A B C D E	Mpa
			h. 背圧	ブローパイ量の計測		測定器を使用して 計測	A (B) C D E	0.6L/min
	2	潤滑装置	油量、汚れ、白濁、油漏れ、エレメントの汚れ(滲み)、損傷	目視	A B C D E	ゲージ		
	3	燃料装置	燃料滲み漏れ、詰まり	目視 or 触診	A B C D E			
	4	燃料タンク	ドレンコックから水抜き実行、燃料の汚れ具合	目視	A B (C) D E	水抜き		
	5	燃料油種	軽油 ・ 灯油 ・ A重油 ・ 茶灯油	目視 or 嗅診				
	6	冷却装置	a. クーラント	水量、濃度、汚れ (サブタンク水量: 満・中・少・無)	目視 or 触診	A B (C) D E	クーラント濃度 -20°C	
b. 水漏れ			ウォーターホース、ドレンバルブ、キャップ機能チェック	A (B) C D E				
c. ラジエータ			外側コア(フィン)の目詰まり、汚れ、凹み、水漏れ	A B (C) D E		水温上昇		
d. オイルクーラー			外側コア(フィン)の目詰まり、汚れ、凹み、オイル漏れ	A (B) C D E				
e. ベルト/ウォーターポンプ			たわみ、摩耗、損傷、ガタの有無と程度	A B C (D) E		劣化		
f. 水温計			正常(適温)表示	(良) 不良				
g. その他			ファンカバーやダクトの亀裂有無・損傷及び変形など	A B (C) D E				
7	電気装置	オルタネータ機能、バッテリー液量、ターミナル緩み、リレー状態腐食 搭載バッテリー型式 ⇒ [130F51]	目視 or 触診 or 電圧計 目視	A B C D E	電圧 約28.15V(ボルト)			
走 行 装 置	8	走行コントロール	前後発進停止、左右操舵(有無線リモコン操作も同様)	操作	A (B) C D E			
	9	起動輪 ・ 遊動輪	クラック、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付ガタ、油漏れ	目視 or 聴診 or 探傷剤	A B (C) D E			
	10	上部ローラー ・ (下部ローラー)	クラック、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付ガタ	目視 or 触診	A B C (D) E	オイル漏れ		
	11	履 帯	(シュー)クラック、変形、摩耗、シューボルト・ナット取付緩み、リンク・ブッシュクラック/欠け、ヒッチ伸び、たわみ、固着	目視	A B (C) D E			
	12	履帯調整装置	作動、調整ボルト損傷、変形、腐食、摩耗、シリンダー油漏れ	目視 or 操作 or 探傷剤	A B (C) D E			
	13	走行減速機	油量、異音、異常発熱、ケースクラック、損傷、油漏れ ※減速機の油量チェックは必須の事	目視 or 聴診 or 触診	A B (C) D E			
作 業 装 置	14	ふるい部 投入ホッパー	a. ホッパー	凸・凹状態、摩耗状態、クラック・補強の有無	目視	A B (C) D E		
			b. スクリーン	凸凹曲がり状態、穴あき、補強の有無	目視	A B (C) D E		
			c. スクリーンモータ	ふるいのスピードコントロール調整の有無と作動状態	有 ・ 無	作動可 ・ 作動不可		
			d. 無線リモコン [有 ・ 無]	電源の状態、電池の有無、操作状態など	操作	操作可 ・ 操作不可		
			e. スクリーン角度調整 [有 ・ 無]	固着の有無など	目視	A B C D E		
	15	投入コンベアフィーダ	ベルト状態、張力の緩み、フレムの損傷、送りローの固着有無	目視 ・ 操作	A B C (D) E	サイド破損		
	16	振動ゲート・均し掻き出しローラ	ローラの作動状態、可動状態など	目視 ・ 操作	A B (C) D E			
	17	混合部	a. 固化剤ホッパー	凸・凹状態、摩耗状態、クラック・補強の有無	目視	A B (C) D E		
			b. 固化剤スクリーフフィーダ	固着の有無(固化剤の排出の可否) ※土砂と固化剤が混ざる「混合室」へ排出されているかどうか	目視 ・ 操作	A B (C) D E		
			c. 混合機	パドル・ソイルカッター、ロータリハンマ摩耗状態、作動状態	目視	A B (C) D E	ハンマー減り	
	21	排出コンベア	ベルト状態、張力の緩み、フレムの損傷、送りローの固着有無	目視 ・ 操作	A B (C) D E	削れ		
	22	作業記録計	出力装置の有・無、記録紙出力の可否	目視 ・ 操作	A B C D E			
	23	操作盤、操作モニタ	操作ボタン欠損、モニタ表示不良・破損、操作の可否	目視 ・ 操作	A B C (D) E	見にくい		
24	排出コンベア	ベルト状態、張力の緩み、フレムの損傷、送りローの固着有無	目視 or 操作	A B C (D) E	削れ			
25	各種センサ	各部センサ(コンベアスケール)の作動状態、不良の有無など	操作	A B C D E				
26	クレーン	ワイヤリング、乱巻、操作不良(有無線リモコン操作も同様)など	目視 ・ 操作	A B C D E				

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	評価	備考
油圧装置	27	作動油タンク	残油量(適量・中・少・無)、ゲージの汚れ	目視	A B (C) D E	
	28	コントロールバルブ	油漏れ、異音	目視 or 聴診 or 触診	A B (C) D E	
	29	油圧メインポンプ	油漏れ(本体/サクションホース付近)、異常振動、異音	目視 or 聴診 or 触診	A B (C) D E	
	30	コンベアモータ(ブリーモータ含)	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	目視 or 触診	A B (C) D E	
	31	油圧ホース類	接続、カシメ部の漏れ・しみ、損傷、劣化、摩耗	目視 or 触診	A B C D (E)	劣化
	32	油圧シリンダ	スクリーン昇降シリンダ	自然沈下、油しみ漏れ、伸縮不良、サビ、傷、曲がり	目視 or 操作	A B C D E
	クレーンブームシリンダ		自然沈下、油しみ漏れ、伸縮不良、サビ、傷、曲がり	目視 or 操作	A B C D E	
安全装置・車体関係等	33	昇降設備	亀裂、損傷、変形、取付ガタ	目視	A B (C) D E	
	34	灯火装置、警報器	作動状態、取付ガタ、レンズ破損、浸水	目視 or 操作	A B (C) D E	
	35	回転/警告灯 [(有) ・ 無]	作動状態、取付ガタ、レンズ破損	操作	良 (不良)	
	36	セキュリティ	イモビライザー、電子Key、隠しスイッチ、パスワードなど	操作	有 (無)	<input type="checkbox"/>
	37	反射鏡、後写鏡	汚れ、損傷、破損	目視	A B (C) D E	なし
	38	給油脂	オートグリス装置、給油脂状態	目視 or 操作	A B (C) D E	
	39	エアコンプレッサ	作動状態、ホース有無	目視 or 操作	A B (C) D E	
	40	レバー類	グリップ状態、変形、損傷	目視 or 操作	A B (C) D E	
	41	非常停止装置	作動状態	操作	(良) 不良	

実機機械状態から具体的な検査結果報告(特記事項がなければ未記入で可)を記載の事

No.1	
No.2	
No.3	
No.4	・水抜き
No.5	・-20℃、オーバーヒート、ベルト劣化
No.6	
No.7	
No.8	
No.9	・下部ローラオイル漏れ
No.10	
No.11	
No.12	
No.13	
No.14	・コンベア破損
No.15	
No.16	
No.17	
No.18	
No.19	・ハンマー減り
No.20	・削れ
No.21	
No.22	・見にくい
No.23	
No.24	
No.25	
No.26	
No.27	
No.28	
No.29	
No.30	・劣化大
No.31	
No.32	
No.33	
No.34	
No.35	
No.36	・なし
No.37	
No.38	
No.39	・ラジエタ側パネル開閉不能(要板金)
No.40	
No.41	

備考 1. 検査結果を評価欄の5段階評価(A~E)の中で該当する程度・状態を○で囲む。
2. 5段階評価の検査結果に異常(D・E)があった場合には、上記の該当番号欄へ推測される具体的な不具合状態を記入の事。

概要評価基準	個別評価基準(残存率による評価の場合は%を参照)
A: 新品に近く非常に良好な状態の場合	A: 新品に近く非常に良好な状態の場合 / 100~90%
B: 摩耗・損傷が少なく良好な状態の場合	B: 摩耗・損傷が少なく良好な状態の場合 / 90~70%
C: 稼働時間相当の摩耗・損傷があるが、継続使用が可能な状態の場合	C: 稼働時間相当の摩耗・損傷があるが、継続使用が可能な状態の場合 / 70~40%
D: 稼働はするが修理が必要な状態の場合	D: 稼働はするが修理が必要な状態の場合 / 40~20%
E: 即修理をしないと稼働しない状態の場合	E: 即修理をしないと稼働しない状態の場合 / 20~0%